



竹内 宏
(平政会)

総合計画の 策定

質問 市政の推進に当たって、能代市のあるべき姿を想定した市の最上位計画といえる総合計画を策定し、少子高齢化の進行、環境、産業、福祉、医療、教育、地方分権、行財政改革等に対処しなければならぬ。早期の策定を望むがどうか。

答弁 総合計画は、市の最上位計画として、長期的展望に基づいて、まちづくりの方向性を示すもの。計画の策定過程から多くの市民の参画と理解を得て、市民と行政が共にまちづくりに取り組み動きにつなげたい。行財政改革を推進しながら、限られた財源を有効活用し、計画に位置づける施策を着実に推進する総合計画にしたい。全庁体制で取り組み、平成19年度中に策定を終え平成20年度からの施策に反映したい。

財政見通し について

質問 地方交付税、補助金等の削減や税源移譲など分権メニューが示され、地方の財政運営は厳しい状況にある。地方交付税、臨時財政対策債の当市への配分の現況と今後の財政見通しについて。

答弁 平成18年度の普通交付税は、合併の財政支援分8500万円を除いた通常分で63億円、臨時財政対策債は、6億9040万円、合計69億9040万円を見込んでいます。また、特別交付税は、合併に伴う財政支援分2億2300万円を合わせ11億2300万円を見込んでいます。今後の財政見通しは、地方交付税、臨時財政対策債、市税の歳入の減少は続くと考えられる。一方、歳出面では扶助費のほか、医療や介護保険関係の繰出金が増加している。平成18年度予算での財政調整基金の一般分の残高は約8400万円とかつてない厳しい状況にある。

竹内議員のその他の質問事項

- ・ 新市建設計画と二ツ井プロジェクト提言書について
- ・ 旧能代市の諸課題の整理とステツプアップについて



飯坂 誠悦
(創風会)

都市連合による 施設の建設を

質問 今後の財政を考えた場合、高次のサービスを提供するために都市施設（文化施設、病院等）は、道路網を軸に沿道各都市が連合を組み共同で建設していくべきではないか。一つの施設により多くの投資が可能となると思うが、いかがか。

答弁 現在の地方都市の置かれている財政状況では、新たな大規模施設の建設の前に今ある施設を有効に活用し、市民ニーズに添えていくことを考えなければならぬ。交通網の発達と合わせ、広域的に都市が連携し、効率化を進め、高次のサービスを受けられるまちづくりが必要であるが、現時点では、話し合いの段階に至っていない。道路網の整備等、移動の利便性も高まっている。米代川流域地方拠点都市地域などの連携や交流の積み重ねの上に、地方都市相互の機能や役割分担に対する共通認識が出てくることも考えられる。

るため今後の課題としたい。

能代港の 利活用

質問 秋田県北部エコタウン計画の中で同和鉱業の果たす中心的な役割は大きいと思うし、北部エコタウン計画の成否は、能代港のリサイクル港としての利活用にかかっていると思うが、いかがか。地域振興としてリサイクル関連企業の誘致はいかがか。

答弁 同和鉱業には能代港を活用されるよう、積極的に交渉してまいりたい。県北地域は多くの企業がリサイクル事業に取り組んでおり、秋田県北部エコタウン計画の推進のため、地域の物流の拠点として能代港が積極的に利用されることを期待している。企業誘致については、能代港がリサイクルポートとして利活用され、リサイクル事業がさらに展開されれば、新たな事業展開や新規事業の創出に発展することも考えられ、本市への進出につながることも期待できる。本市のセールスポイントをアピールし、積極的に企業と折衝してまいりたい。

飯坂議員のその他の質問事項

- ・ 魅力あるまちづくりについて